

新地方公会計制度による 平成20年度の財務状況をお知らせします

これまでの市の公会計は、単年度の収入と支出の状況を表しているため、過去において整備してきた資産と負債の情報や、行政サービスの経費（コスト）などが把握できないという課題がありました。

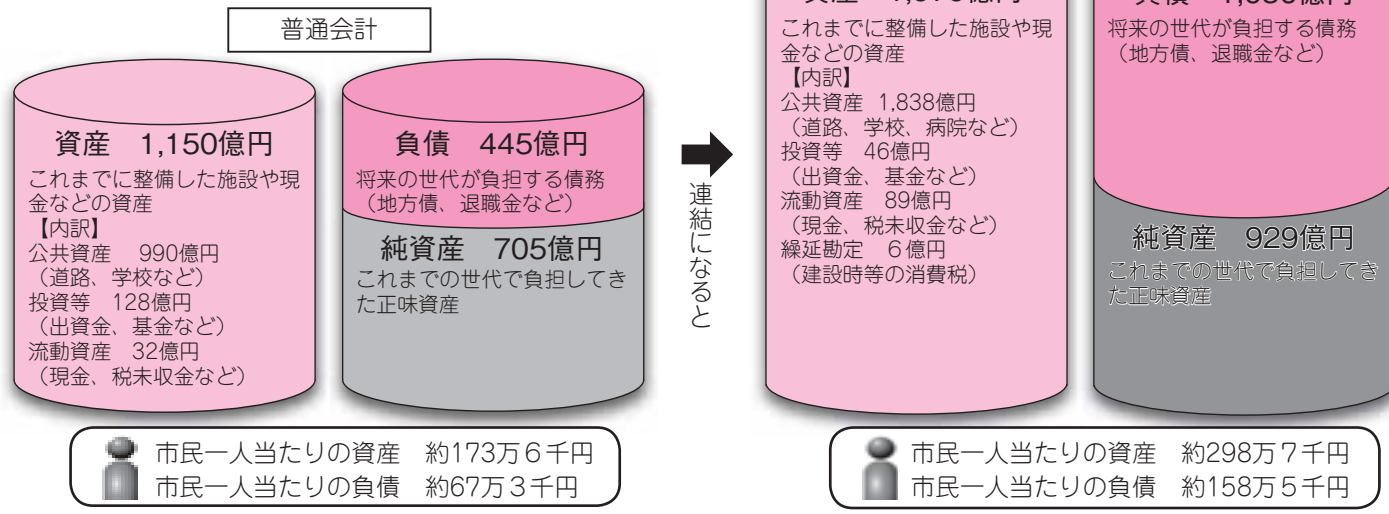
この課題解消に向けて、これまでの公会計に加え、企業会計的な手法を取り入れた新地方公会計制度による市の「普通会計」、市と関連する団体などを含めた「連結グループ」により財務書類4表（貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書）を作成しましたので、その概要についてお知らせします。なお、詳しい内容は財政課窓口に備え付けの「平成20年度十和田市財務書類報告書」、または市ホームページをご覧ください。

問い合わせ先 財政課財政係（☎235111内線173）<http://www.net.pref.aomori.jp/city/towada/>

市民一人当たりの金額は、住民基本台帳に基づく平成21年3月31日現在の人口66,254人で算出しています。ただし、数値を四捨五入しているため合計額と合わないことがあります。

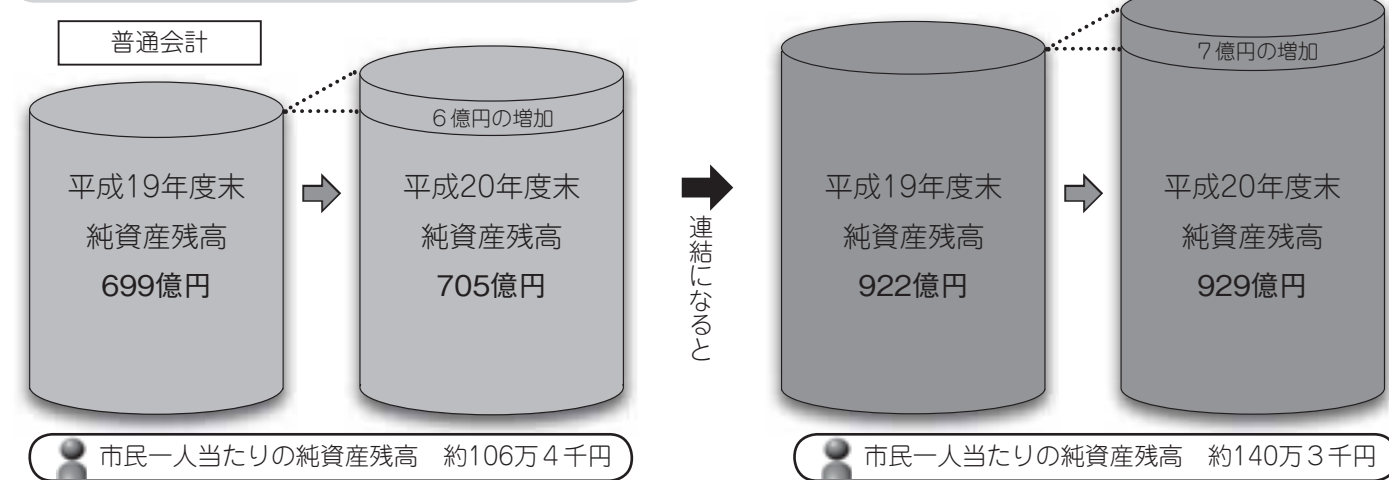
▶財務書類 貸借対照表

※市の保有施設、現金などの資産とその資産がどういった財源で調達されたのかを表したものです。資産の状況を左側に、その財源となった負債と純資産を右側に示し、資産＝負債＋純資産と左右が一致し、バランスがとれていることからバランスシートとも呼ばれています。



▶財務書類 純資産変動計算書

※貸借対照表にある純資産が1年間でどのような財源や要因により増減したのかを表したものです。



連結グループの概要

市全体の会計に、一部事務組合、関連法人を加え、連結グループによる財務書類を作成しています。
 一部事務組合とは、行政サービスの一部を複数の市町村で共同で行うために設置した組織です。
 連結グループの対象となる関連法人は、十和田市が50%以上出資している法人です。

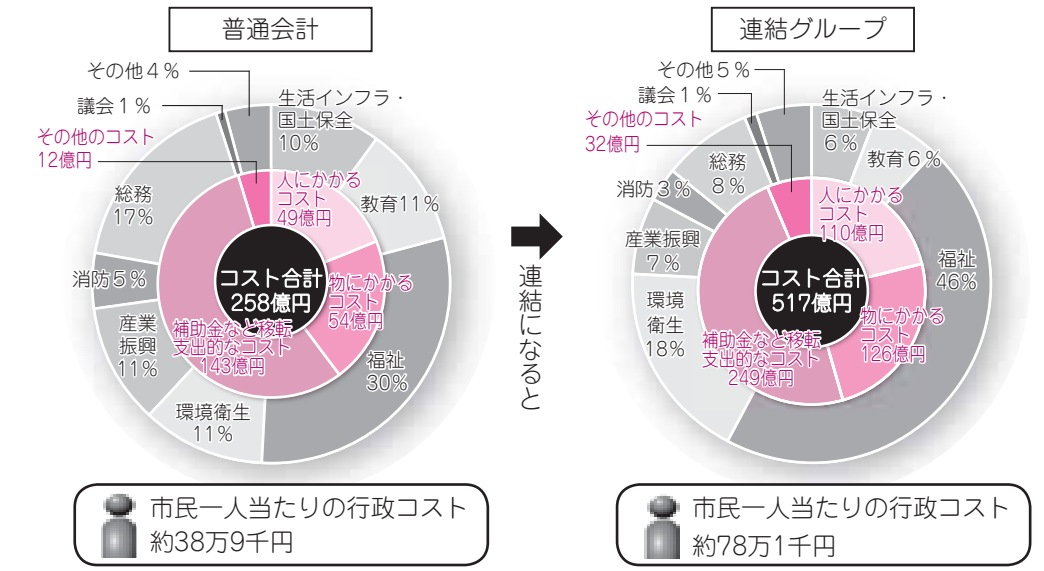
- 市全体**
- 【普通会計】 一般会計（駐車場事業分を除く）
 - 【公営事業会計】
 - 国民健康保険事業特別会計
 - 老人保健特別会計
 - 後期高齢者医療特別会計
 - 介護保険事業特別会計
 - 水道事業会計
 - 下水道事業会計
 - 病院事業会計
 - 地方卸売市場事業特別会計
 - 温泉事業特別会計
 - 駐車場事業会計

- 一部事務組合**
- 十和田地域広域事務組合
 - 十和田地区環境整備事務組合
 - 十和田地区食肉処理事務組合
 - 上北地方教育・福祉事務組合
 - 青森県市町村総合事務組合
 - 青森県市町村職員退職手当組合
 - 小川原湖広域水道企業団
 - 青森県後期高齢者医療広域連合

- 関連法人**
- 十和田市土地開発公社
 - 十和田湖ふるさと活性化公社
 - 十和田市体育協会

▶財務書類 行政コスト計算書

※1年間の行政活動のうち、福祉や教育など、資産形成につながらない行政サービスの提供に係るコストがどのようになっていたのかを表したものです。内側の円は性質別、外側の円は目的別に分類したものです。



▶財務書類 資金収支計算書

※市における1年間の現金の流れに着目し、収入と支出を性質ごとに区分することで、どのような行政活動にどの程度の資金が必要になっているのかを表しています。

